ゼッケン

受け付け開始前に手順をイメージ(昨年受付に関してあんま説明されなかったので前ゼッケン係がちゃんと説明する)

襷渡すの忘れない

ゼッケン探すの大変だから受付にはゼッケン係3人置く

ピンの本数を先に確認しゼッケンとバラで渡す方がいい

受付でチーム名と個人名に振り仮名を振ってもらう←絶対

記録決定

順位判定係からの紙は大量なので、終わった紙をためていくボックス等があると見返しやすく、作業もしやすい。

試験的に、掲示係からデータをExcelで受けとることもしてみたが、現段階では有効に使うのは難しい。何かしらの方法で今後に生かせるよう、考えたいと思う。

記録が打ち込まれている紙の横にゼッケン番号を書いておくとずれにくいので良い。

慌ててしまい、記録がずれてしまうことがあった。

計時

10人ぐらいかたまってくるかとも思いましたが、今回は多くても4人くらいでしたので、特にミスもなくできてよかったです。  
来年仕事内容を変える必要はないと思いますが、パソコンの併用も考えるようです。

[1]良かった点  
　杉浦さんのアドバイスで襷がラインを通ったときにストップウォッチを押すことがいかに大切かわかった。人を見て押していると間違えて同じチームの人なのに２回押してしまいそうになったり、最後尾の役員をカウントしそうになったりしたので、このアドバイスは後輩に伝えたいと思った。  
　[2]改善点？  
　プリンターの蓋が取れており、紙を押さえながら計測した。一度押さえることを忘れ、巻いてある紙が伸びてしまい、巻き直しながら計測する事態となった。プリンター自体は機能しているので、買いかえることはしなくてもよいがうまく紙を押さえられるようなことを考えなければいけないと思った。

今回、配置4人に対して従来型の計測機械が2つしかなかったため、マクロを活用したエクセルファイルにより、スプリット機能のストップウォッチをデジタルで再現し、試験的にデジタルデータの形式で計測を行いました。  
  
当日は、アナログ2つをメインで動かし、デジタルはあくまでバックアップという形で動き、アナログ2機で問題が生じなかったため、実際にデータを使用することはありませんでした。  
  
アナログ主体の方式を変更するのは多大な労力がかかるとともに各部署の系統が全く変わることが予想されるため現実的ではありませんが、来年以降に何か生かせないか検討してみたいと思います。自分の部署内で完結し、なおかつデジタルを活用することで労力を軽くできるようなことはないか、考えてみたいと思っております。

順位判定

・記録を取るのが三人だったのはちょうど良かったと思います。

・記録を取った紙をまとめておくカゴがあるとよかったです。

・選手のゼッケンを貼る位置を固定してもらえるともう少しゼッケンが見やすかったと思いました。

①ゼッケンの位置が決まっておらず、腰につけていた選手がいて記録が少し遅れたこと。

②タスキでゼッケンが見えないときがあったこと。

⓷マイクが時間を読み上げる声を集音してしまっていると苦情がきたとき、時間の読み上げがとまってしまったこと。

改善策として、

①ゼッケンの位置を指定しないのであれば、その旨を順位判定係などゼッケンを見る必要がある係に周知させる。

②部内駅伝では起こらないようなトラブルに関しては仕方がないので、毎年どのようなトラブルがあったかをまとめ引き継ぎ、係の1年2年に本番にそういうこともあるので対応するようにと指示しておく。

⓷受付などで苦情などに対応できるような場所を本部に設置する。

提案として、

①順位判定は3人の記録する係と1人の時間を読み上げる係の構成がベストであると思われる。これは2人分の判定に矛盾が生じたとき、残りの1人の判定と照らし合わせる必要があり、かつ本部の机ひとつ分に収まる最大人数であるためである。

②記録した紙が手元に溜まっていってしまうため、それを入れる篭があれば良かった。

⓷記録決定係が紙をまとめ易いように3人の使うペンの色を変えるぐらいした方が良い。

④各自自分の時計でも計測しながら仕事につくことを指示しておく。

周回

特になし？

競技者A

（残り200m地点にてナンバー読み上げ）

幾つか番号を読み間違えてしまったのが反省です。この地点でも、隣にゼッケン番号のメモを取る人がいると、2人で確認できるので、読み間違えが減るのではないかと思いました

トランシーバーでのやり取りの中で時たま雑音が入ってしまい、番号を伝えられなかったことがあったことです。改善策はトランシーバーをあまり離しすぎないことかと思います。

(トランシーバーで番号きく係)

1週目と2週目の途中まで石井がトランシーバーで聞き取っている最中に、書き出された番号を呼んでしまいマイクの音のせいで聞き取りがうまくいかない場面が2.3回あった。予定通り拡声機を使えば後半肉声で大声を出す羽目にならなかったと思う。

1区の途中で電波状況が悪くなり、聞き取れない部分があったことです。しかし、その時のために、さらにゴールの近くに拡声器を持った人を置いていたので、大きな問題は生じずに済みました。今年の競技者係の分担は責任者の小河さんが去年から導入した仕組みのようですが、良かったと思いました。また、トランシーバーを持ちつつメモを取るような流れだったので、立ちながら遂行することは出来ませんでしたが、椅子がなかったので、やりにくいと感じました。来年に向けて思ったこととしては、分担は人数がいれば来年も同じようにしたほうが良い、椅子があると良い、またトランシーバーに代わるもの(LINE電話など)を用意した方が良いかもしれないということでした。

速報係  
賞状作成の時間の見積もりの甘さや、時間が無いことから、焦って賞状を渡すべき相手の賞状を作り忘れたというミスが主な反省。  
また、せっかく3人いたのに、あまり有効に活用できず、うまく役割を分担できていればもう少しはやく終わっていたことも考えると、役割分担の下手さも反省点。  
改善案  
来年は、競技開始から2時間30分後に閉会式をした方がいいと思った。  
また、来年も3人体制で行い、賞状作成と、記録を読む人を別にすると、もう少し時間の短縮が図れると思った。

記録決定用紙がなかなか送られてこなかったので、結果を打ち込むこともできず、結果賞状を作るのが遅くなってしまった

豚汁

特にない模様

監察員

車のバーがあるらへんの監察員やりました。  
車が来てしまった際に、ゆっくり進んでくださいと言って通すことになりましたが、本来どう対処すべきか不明でした。  
また若干ショートカットを図る選手がいたため、必ず車道を走る、などの注意やコーンによる通行止めを行うといいかと思いました。  
速報については賞を増やしたことで賞状作成において時間的余裕がなくなっていましたが、昨年に比べたらミスは圧倒的に少なく合格点だと思います。

緑ヶ丘地区を担当しました。コース図の⑤の場所です。

選手は問題なくコース通りに走ってもらえました。

少し問題が発生して、緑ヶ丘地区の教授が正門から車で出たいと言われたので選手と同じくらいの速度で走ってもらいました。選手に二人ほど抜かれましたが、ほぼ運営に問題はありませんでした。

その教授も12〜15時に走れない事を知っていましたが、やむを得ない事情があるようでしたので通してしまいました。

その他

※手順、セリフを総務とよく確認する

※マイクのチャンネル確認

今大会、体育館と被ったことでマイク使用禁止になった。

※成績発表、表彰の手順、綿密に必ず確認

名前を呼んだときに前に出てきてもらうのか。全部発表おわってから表彰としてまとめて前に出てきてもらうか

※結果を大会本部に貼るか否か確認

今回、一度貼らないと言われて閉会式でその連絡をできなかった。

※気をつけ、礼の合間がない

するならば前もって話していただく方に言っておく

※賞状もってくれる人、景品もってくれる人、トロフィーもってくれる人

またはまとめて机に置いておくなど決めておく、その人たち込みでリハーサルする

渡す物の数も確認

※トロフィーを箱から出す

※チェック項目つくる

▫︎賞状作成完了

▫︎ふりがな確認

など

このチェック項目を全てクリアしてから閉会式にうつる。

時間通りに無理やり初めてぐだぐだするよりは、+10分してもいいから閉会式でびしっと締める

※速報、周回の間違えなくす

※アナウンス内容の事前確認

前日までに当日これくらいの時間にこういうアナウンスをしてくれ、と聞いておきたかった。

校内注意喚起など

3.開会式15:30からにしましょう

表彰できたら閉会式開始じゃダメですね

進行の表彰する人がチーム、名前をよく理解してからじゃないと。

杉野先生から言われましたが、最終競技者ゴールしてからしばらくして、こちらの準備が整うまでビンゴ大会やってもらうのとてもいいと思います。賞品はうまい棒くらいでいいから、当たった人に学内駅伝の感想をいってもらう。

予算上、問題がないならぜひやってもらいたい。

記録の読み上げ中に外部の人に話しかけられると記録が取りづらくなるので何か窓口のようなものがあると良いと思いました。

 道路のテープは曲がるとこに重点的に貼る方が効果があると思います。

前日に掃除をしたにも関わらず、緑が丘の方は結局当日も落ち葉があり掃除することになった。確かに前日やることで当日の掃除は楽でしたが正直、非効率だなと思った。今年は一年生の人数が多くて、駅伝が始まるまで(11時～12時半にかけて)僕も含め、暇の人が何人かいたので、当日だけでも十分だと思う（来年の新入生の人数にもよりますが）。

100番代のゼッケンの一の位が襷と被って読みづらかったです。読み間違えの原因でもありました。改善点としては、腰番を付ける事が考えられますが、あまり現実的ではないと思います。

多少のミスやごたつきはあったが、全体としてはかなりスムーズに進んでいてよかったと思う。なにか気になる点をあげるとすれば、係内の連携にとどまりがちなところがなきにしもあらずなので、関連する係間でももっと密に連絡やらとれるよう意識するとよりうまく行くのではないか。また、準備における係などの確認なども確実にすると、より仕事が滞りなくに進んでいくと思った。

カメラ係

記録決定のチェックと同時に行っていたので、あまり多くの写真は撮れませんでしたが先輩方何人かに手伝っていただいたため、一通りの写真をそろえることができました。東工大の選手がどのチームで何区を走るかをしっかり認識しておけばもっと多くの写真が撮れたのではないかと思いました。

入構車両の注意を行いましたが、途中車が通ってしまい、注意を呼びかけきれていなかった、と感じました。あとは自転車が通って危なかったので自転車に乗っている人にも何か注意を呼びかけられれば良かったなと思いました。簡単なポスターなどを貼って通れないように注意できたらよかったです。

コース上の矢印の準備がギリギリで、なおかつ直線箇所などの不要と思われる部分への設置が多かったため、設置箇所を予めマニュアル化することが必要ではないかと感じました。  
また、仕事表をアップローダに上げていただいていましたが、自分の本職に関係しない、前日、当日の準備や、レース後などの配置は、仕事表通りに動いていたものは少なかったように思われます。

運営全体を通して、仕事の内容が明確でなかったり行き当たりばったりな状況がよく見られた。

ビラ配りも含め、指示をする側の人間はすぐにlineなどで連絡が取れるような状態にあるべきであったように思う。

当日の本部設置に手間取ったことを考えると、準備の段階でどの道具を幾つ持ってきているのかを予め周知させるべきであったように思う。

当日の学内駅伝最中に車が2台本部前を通ったが、あれは果たしてよかったのか。自転車も通っており、杉野さんが対応するような形となったが、あれは規制の徹底不足だったのではないか。  
他には、マイクが(かな？)電源を使うということで、今年は急遽部室のコードを使ったので、3個以上借りるか、コンセントが4個以上あるものを借りてもらえると助かる。

走者がゴール後、歩くべき道や、競技者B(ペットボトルとタオルを渡す人)の場所がわからず迷っているようにも見られた。もっと目立たせるなり、誘導の目印をつけるなり、工夫する必要があると思う。

何度か尋ねられてしまったので、当日行くべき（行くことのできる）トイレを皆把握しておくべきだと思う。